

コメント

1.インフルエンザ

定点当り19.9人と週続けて急増し、注意報レベル(定点当り10人)を大きく超えました。安芸区57.0人、安佐北区38.0人と、警報レベルの定点当り30人を超えています。

本格的な流行時期となりましたので、手洗い・うがいなどの予防に心がけるとともに、今後の動向に注意してください。

2.感染性胃腸炎

定点当り13.4人とほぼ横ばいとなっています。安芸区28.0人、安佐北区22.0人と特に多く、東区15.3人、佐伯区11.7人、中区10.7人、南区10.0人となっています。

インフルエンザ急増!

予防方法

- 手洗いとうがいを励行しましょう。
- 偏食せず、バランスの取れた食事をし、体力をつけましょう。
- 部屋の中は、暖かくし、湿度を保ちましょう。
- 人ごみを避けましょう。
- 外出時は、マスクやマフラーを着けましょう。
- インフルエンザの予防接種を受けることが効果的です。

もし、インフルエンザの症状が現れたら、**マスクを着けて医療機関を早めに受診**しましょう。

5類感染症報告状況(定点把握対象分)

疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年(注1)	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年(注1)	発生記号
インフルエンザ(注2)	735	19.86	6.36	↑	麻疹(注3)	-	-	0.02	
咽頭結膜熱	2	0.08	0.06		流行性耳下腺炎	65	2.71	1.18	↘
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	18	0.75	0.85	↘	RSウイルス感染症	13	0.54		
感染性胃腸炎	321	13.38	13.88	→	急性出血性結膜炎	1	0.13	0.03	
水痘	70	2.92	3.61	↘	流行性角結膜炎	4	0.50	1.43	
手足口病	1	0.04	0.13		細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
伝染性紅斑	3	0.13	0.25		無菌性髄膜炎	-	-	0.06	
突発性発しん	22	0.92	0.97		マイコプラズマ肺炎	1	0.14	0.43	
百日咳	1	0.04	0.02		クラミジア肺炎(注4)	-	-	-	
風しん	-	-	0.01		成人麻疹	-	-	-	
ヘルパンギーナ	1	0.04	0.02						

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1.2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1.15~2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1.11~1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少ないなど、傾向の判断が不適切と思われるものについては、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注1) 過去5年間の同時期平均(定点当り)
 (注2) 高病原性鳥インフルエンザを除く
 (注3) 成人麻疹を除く
 (注4) オウム病を除く

1類~5類感染症報告状況(全数把握対象分)

類型	疾患名	報告数	累積	備考
2	細菌性赤痢	1	1	男性(10歳未満)

5類感染症報告状況の推移 (定点把握対象分)

報告数	広島市	インフルエンザ (注1)	咽頭結膜熱 球菌咽頭炎	A群溶血性レンサ 球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (注2)	流行性耳下腺炎	RSウイルス 感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ 肺炎	クラミジア肺炎 (注3)	成人麻しん		
																							第50週	第51週
報告数	広島市	71	2	53	469	91	1	3	9	-	-	1	-	99	49	-	14	-	1	4	-	-		
	広島市	102	2	41	460	87	8	-	15	1	-	2	-	100	23	-	5	-	-	3	-	-		
	広島市	93	3	16	304	96	-	1	14	1	-	-	-	47	23	-	8	-	3	-	-			
	広島市	195	2	24	352	82	-	4	15	1	-	-	-	88	9	-	9	-	1	1	-			
	広島市	735	2	18	321	70	1	3	22	1	-	1	-	65	13	1	4	-	-	1	-			
定点当り	広島市	1.92	0.08	2.21	19.54	3.79	0.04	0.13	0.38	-	-	0.04	-	4.13	2.04	-	1.75	-	0.14	0.57	-	-		
	広島市	2.76	0.08	1.71	19.17	3.63	0.33	-	0.63	0.04	-	0.08	-	4.17	0.96	-	0.63	-	-	0.43	-	-		
	広島市	2.58	0.13	0.70	13.22	4.17	-	0.04	0.61	0.04	-	-	-	2.04	1.00	-	1.00	-	0.43	-	-			
	広島市	5.27	0.08	1.00	14.67	3.42	-	0.17	0.63	0.04	-	-	-	3.67	0.38	-	1.13	-	0.14	0.14	-	-		
	広島市	19.86	0.08	0.75	13.38	2.92	0.04	0.13	0.92	0.04	-	0.04	-	2.71	0.54	0.13	0.50	-	-	0.14	-	-		
	全国	5.34	0.35	1.10	11.15	2.30	0.11	0.15	0.44	0.01	-	0.03	-	1.23	0.02	0.62	0.01	0.02	0.24	0.02	-	-		
	全国	6.82	0.25	0.74	7.28	2.66	0.07	0.17	0.39	-	-	0.02	-	1.45	0.03	0.83	0.01	0.02	0.18	-	-	-		

(注1) 高病原性鳥インフルエンザを除く (注2) 成人麻しんを除く (注3) オウム病を除く

5類感染症報告状況の推移 (STD(性感染症)-基幹定点月単位報告分)

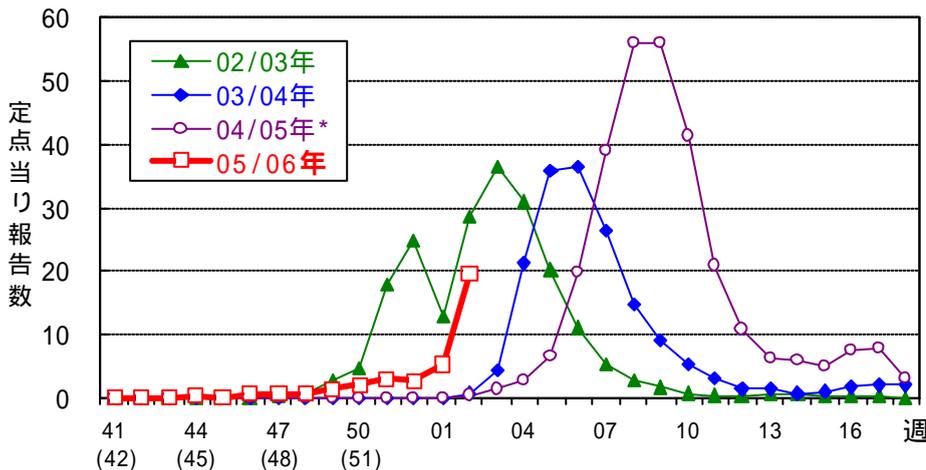
報告数	広島市	11月	STD(性感染症) 定点												基幹定点								
			性器クラミジア 感染症			性器ヘルペス ウイルス感染症			尖圭コンジローマ			淋菌感染症			メチシリン耐性黄色 ブドウ球菌感染症			ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症			薬剤耐性 緑膿菌感染症		
			総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
	広島市	11月	12	11	1	6	5	1	4	2	2	14	14	0	36	20	16	23	14	9	1	1	0
	広島市	12月	18	11	7	12	10	2	5	2	3	7	6	1	50	30	20	35	17	18	1	1	0
定点当り	広島市	11月	1.33	1.22	0.11	0.67	0.56	0.11	0.44	0.22	0.22	1.56	1.56	0.00	5.14	2.86	2.29	3.29	2.00	1.29	0.14	0.14	0.00
	広島市	12月	2.00	1.22	0.78	1.33	1.11	0.22	0.56	0.22	0.33	0.78	0.67	0.11	7.14	4.29	2.86	5.00	2.43	2.57	0.14	0.14	0.00
	全国	12月	2.69	1.18	1.51	0.90	0.38	0.52	0.52	0.27	0.25	1.19	1.00	0.19	3.90	2.45	1.45	1.30	0.76	0.54	0.10	0.06	0.04

定点数 STD定点 9 基幹定点 7

新たに判明した病原体検査結果

新たな検査結果はありません。

【参考】広島市のインフルエンザの流行状況



* 2004/2005年シーズンは、第53週までであるため、グラフでは()の週に対応している。

広島市の今シーズンのインフルエンザは、第49週(12月5日～11日)に流行開始の基準とされている定点当り1人を超え、昨シーズンより1か月以上早い流行開始となりました。

その後、増加が続いていましたが、年が明けてから急増し、第2週は定点当り19.9人となり、注意報レベルの定点当り10人を大きく超えました。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail eiken@city.hiroshima.jp

2006年第2週(1月9日～1月15日)